



# MBニュース



## 【2017年度産裏白木耳・椎茸・大黒くわい生産前状況】 丸松物産株式会社

・裏白木耳は毎年8月に菌を植え付け、11月から翌年の3月までが収穫期です。日本は12月中旬から1月下旬まで収穫された最も肉厚な原料を輸入しております。産地の福建省では近年農地が工場建設や道路に転用されており、また、原料価格の低迷から農家の栽培意欲が減退していることから、栽培面積は減少傾向にあります。現状原料は僅かな値上げで留まると予測されますが、人件費や資材費、燃料の値上げに加え、人民元高の影響もあり製品価格に転嫁されるおそれがあります。今後収穫が進み製品価格が明らかになるのは、来年1月下旬頃になります。

・椎茸は10月初旬から僅かながら薄肉原料の収穫が始まりました。主な産地の福建省や浙江省では、夏季に早魃に見舞われ、菌床の5~10%が被害を受けたとの事です。この為、昨年より原料は僅かに値上がりしているとのことです。製品価格は来年1月中旬以降に明らかになります。

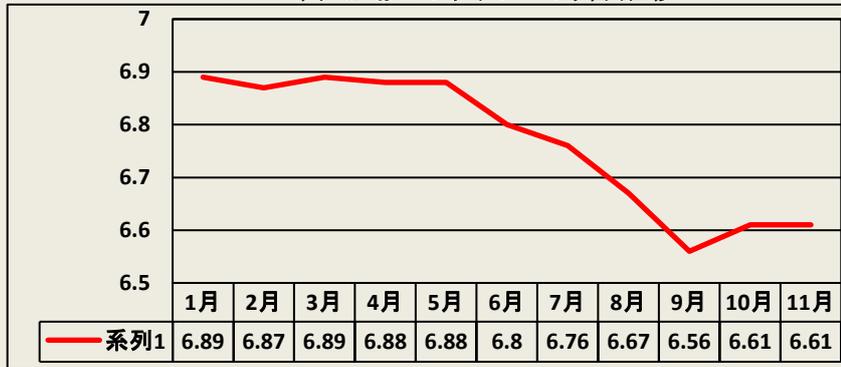
・くわいの収穫は11月の中旬から僅かながら始まり、生産も開始されました。11月に収穫される原料は、小粒で軟らかく、日本向けの加工用として使用していないとのことです。くわいの本格的な収穫期は12月から2月で、日本向けの加工用原料は12月から収穫した原料を使用します。現状栽培面積に変化がないことから、大きな天候被害がなければ、減産することはないと予測されます。

裏白木耳と同様に、椎茸やくわいも人件費や資材費、燃料の値上に加え、人民元高の影響から新物原料の製品価格は値上げが懸念されます。

弊社扱い商品	裏白木耳		裏白木耳		乾燥椎茸		大黒くわい		大黒くわい	
	スライズ	1kg/10入り	ホール	1kg/10入り	厚肉中	500g/10入り	ホール	3号缶/24入り	スライス	1号缶/6入り

## 【2017年人民元・対米ドルの為替推移】

2017年人民元・対米ドル為替推移グラフ



月平均為替価格

三菱USリサーチ&コンサルティング(株)現地参考為替相場表を参考にグラフを作成。

左記グラフのとおり2017年前半まで中国人民元は対USDに対して「元安」でしたが、6月以降「元高」に転じ、本年5月と比較し現在では6%「元高」で推移しております。日本と同様中国も輸出入の決済の多くはUSD建てで行われており、「元高」は中国から輸出される製品・原料のコストアップの要因となっています。

## 【新商品情報】

	品名	きのこのごま和え 900g×10入り	
	商品説明	3種のきのこ野菜を彩り豊かにごま和えにした逸品。じっくり素材の美味しさを味わえるお惣菜です。	
	主原材料	しいたけ・エリンギ・えのき・人参	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	賞味期限は未開封の状態を基準としております。開封後はお早めにお召し上がり下さい。	